

おかげさまで都産技研は2021年度に設立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しました。将来にわたり中小企業を支えるためには、技術支援と研究開発の「二兎を追う」ことが必要で、両方を追求する姿勢こそが本物の研究者をつくと信じています。都産技研の設立100周年記念事業では「変わる産業 変わらない使命」をコンセプトとしていましたが、変わる産業を支えるには、自分たちも変わらなければ使命を果たすことはできません。絶え間ない流れの中で、新たなビジネスの種を少しでも残せるよう、技術支援と研究開発の更なる進化に取り組みたいと思います。

くろべ あつし
理事長 黒部 篤

2022年度の研究事業においては、がん患者の苦痛を和らげる全く新しいセント(管状医療器具)や、より高性能かつ高効率な金属3Dプリンター、センシング材料への発展が期待できる圧力測定フィルムなどの研究開発がなされ、高い評価を受けています。今後も引き続き、製品化・事業化に向けて共同研究を実施するとともに、エネルギーのHTTに着目した脱炭素化(カーボンニュートラル)やサーキュラーエコノミーへの取り組みを進めてまいります。天然の資源を節約しながら経済を回すために、我々ができることを、中小企業の皆さまと一緒に考えていきたいと思っています。

かどぐち かつひこ
理事 角口 勝彦

セミナーや講習会といった人材育成、クロスミーティングなどの情報発信については、「在宅勤務でもセミナーに参加できる」といったメリットもあり、今年度はオンラインとオフラインのハイブリッド開催としました。多くのお客さまにご参加いただくことができ、今後もさらに最適な形を追求していければと思っています。皆さまに十分な支援を届けるには、私たちも産業構造の変化についていけるよう、努力を重ねなければなりません。自分たちの専門分野に留まらず、その領域を広げていきながら、サービスを向上させていきたいと考えています。

みつお あつし
理事 三尾 淳



理事 角口 勝彦

理事長 黒部 篤

理事 三尾 淳